

津之郷学区(町・地区)まちづくり推進委員会

委員長 山崎 俊章

(問合せ先) 084-951-1002 (津之郷交流館)

事業内容

(1) 地域福祉事業

- ①ワクワクつのごう教室の開催（ 通年 交流館・保育所 116人 ）
- ②成人対象講座（ 通年 交流館 114人 ）
- ③講演会・研修会の開催（ 11月9日 広島県防災航空センター 24人 ）
- ④いきいきサロン（ 毎週水曜日 交流館 257人 ）
- ⑤ウォーキングと学習を兼ねて学区民の健康を促進する（ 1月25日 228人 ）
- ⑥ばら花壇づくりと手入れ（ 通年 坂部ばら花壇 約150人 ）

(2) ふれあい事業

- ①運動会の開催（ 5月25日 津之郷小学校 600人 ）
- ②サマーフェスタの開催（ 8月2日 津之郷小学校 610人 ）
- ③自治会ふれあい活動（ 10月～1月 3自治会 344人 ）

(3) コミュニティー育成事業 ぐみ分別収集、地域環境美化、地域活性化

- （ 通年 ぐみ分別収集 管理11自治会 4,000人 ）（ 6月29日 親水公園 115人 ）
- （ 通年 各自治会内清掃作業 4,000人 ）

(4) 生活安心安全事業

- ①避難訓練の実施・AED研修
（ 11月23日 第1次避難 304人、研修会 159人 計463人 ）
- ②防災用品の啓発活動
（ 災害用マンホールトイレ こども用補助便座、トイレ用パーソナルテント購入 ）

(5) まちづくり推進委員会運営事業

- 運営事業費（ 通年 交流館 132人 ）
- まちづくり推進委員会開催 4回（ 通年 交流館 98人 ）



津之郷学区
ウォークラリー



ワクワクつのごう教室
LEDイルミネーション

成果

各事業とも、地域の方々や世代間交流をはかることができた。

課題

世代間の交流を促進するために、行事への主体的な参加・活動を促せるよう工夫が必要。
予想される災害に対して、地域全体で危機意識を共有し防災に備えること。

課題解決にむけて

行事の準備・片付けを簡略化するという運営の効率化をおこなう。
各種団体間でコミュニケーションをはかり、主体的な活動や課題解決に努める。

2024年にひきつづき…

予想される災害(南海トラフ地震等)にそなえる!

《防災研修》 11月9日(日) 広島県防災航空センターへの視察研修

☆見て学ぶ

広島県防災航空センターにて、防災ヘリコプターの活動、装備品、救助用具の説明と救助の実演を間近で見ることができ、また防災倉庫(300メートルにわたる建物)には、様々な防災機器、用具、食料品が備蓄されており、全国どこへでも支援できるようにされていた。防災への備えの重要さを体験できた。

広島県では、広島市の防災ヘリと広島県の防災ヘリ2機で対応しており、福山市には広島県の防災ヘリが対応していることがわかった。



《防災訓練》

11月22日(日) 第1次避難は自治会ごとに、その後津之郷小学校において防災研修

☆消防隊員によるAED訓練

反応(意識)の確認→119番通報とAEDの依頼→呼吸の確認
→胸骨圧迫(心臓マッサージ)→AEDの順に行動



☆設置しよう・使ってみよう

☆済美中学校の生徒もたくさん参加

避難所開設訓練→避難所設計図に基づいたテントなどの設置と防災用品の確認



☆子ども用補助便座・ベビーベッドを設置



☆高齢者用介護ベッドを設置